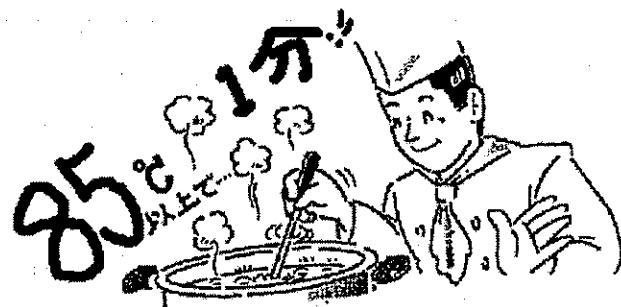


松山市 学校給食衛生管理マニュアル

V 配缶マニュアル編



衛生管理マニュアル（配缶マニュアル）

松山市全学校給食共同調理場

	作業手順	点検項目	衛生管理ポイント
作業前	<p>食缶・バットの準備</p> <pre> graph TD A[食缶・バットの準備] --> B[使い捨て手袋・ペーパータオルの準備をする。] B --> C[手洗い] </pre> <p>使い捨て手袋・ペーパータオルの準備をする。</p> <p>手洗い</p>	<ul style="list-style-type: none"> 床の汚染による二次汚染 食缶の洗浄消毒不足による汚れや水分の残存 配缶場所・使用備品 保管方法が適切でなかった事による二次汚染（食缶、バットは60cm以上の高さの置台の上に置く。） 配食台の衛生 衛生的な取り扱い エプロンからの二次汚染 配缶人数・量とクラス食缶・バット数 (作業時間の短縮による汚染防止) 	<ul style="list-style-type: none"> 配食場所が清潔であるか確認。 配食場所は製品の存在する場所として、一番の清潔区域であるため、配食場所の床は汚さないようにする。（二次汚染を防止するため作業動線が交錯しないようにする） 食缶の消毒が確實に行われているか確認する。 (目視、保管庫の点検) 食缶は(配食受けの担当が)配食直前に出す。 使用する器具・用品類が適切な場所に置かれているか。 (配食用として衛生的な場所に保管しておく) 食缶は床面から60cm以上の高さの置台の上に置く。 <p>エプロンを配食用に取り替えているか。 手指を正しく洗浄しているか。 エプロンを消毒しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保存食日誌、和え物チェックカードの準備・確認
作業中	配缶	<ul style="list-style-type: none"> 配缶時刻 水の飛沫による二次汚染 床の汚染による二次汚染 配缶用具及び手指からの二次汚染 衛生的な取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> 中心温度の確認(85°C、1分間以上) 配食場所が清潔であるか確認。 配食時刻は喫食2時間以内が守られているか。 配食場所を汚さないよう、他の作業をしている人も協力する。(作業動線が交わらないか確認) 配食場所付近で片付け作業をしていないか確認。 配食担当者は手指を正しく洗浄しているか。 <p>使い捨て手袋を使用する。(和え物、直接食材に触れるもの)</p> <p>食缶についた汚れはペーパータオルでふきとる。</p> <p>配食中やむをえず釜洗い等をする場合は、洗浄水等が飛散しないように行う。(作業場所の区別)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保存食日誌、和え物チェックカードの記録
作業後		<ul style="list-style-type: none"> 水の飛沫による二次汚染 床の汚染による二次汚染 	<ul style="list-style-type: none"> 配食後の釜洗いは、全ての配食終了後に行う。
その他			
点検記録簿			